

景観形成の考え方について

横浜スタジアム増築・改修計画

進捗状況について

はじめに

横浜スタジアム増築・改修計画 事業の目的

横浜スタジアムは、ハマのシンボルとして、横浜公園野球場、ゲーリック球場、平和球場と名称を変え、多くの横浜市民や全国の野球ファンの皆様に愛され、そして、支えられ、変貌を遂げてきました。

昭和53年のオープンから38年が経過し、この間、時代の変化やお客様のニーズに合わせ、幾度となく改修等を繰り返していますが、施設の老朽化、競技環境と観客サービスレベルの低下が課題となっています。

横浜スタジアムが、ハマのシンボルとして多くの市民に長く愛され続け、関内・関外地区のにぎわいに寄与し、併せて、東京オリンピック競技大会の野球・ソフトボールのメインスタジアムとして、大会を成功に導く場となるよう改修計画事業を行うものがあります。

一部店舗等の変更について

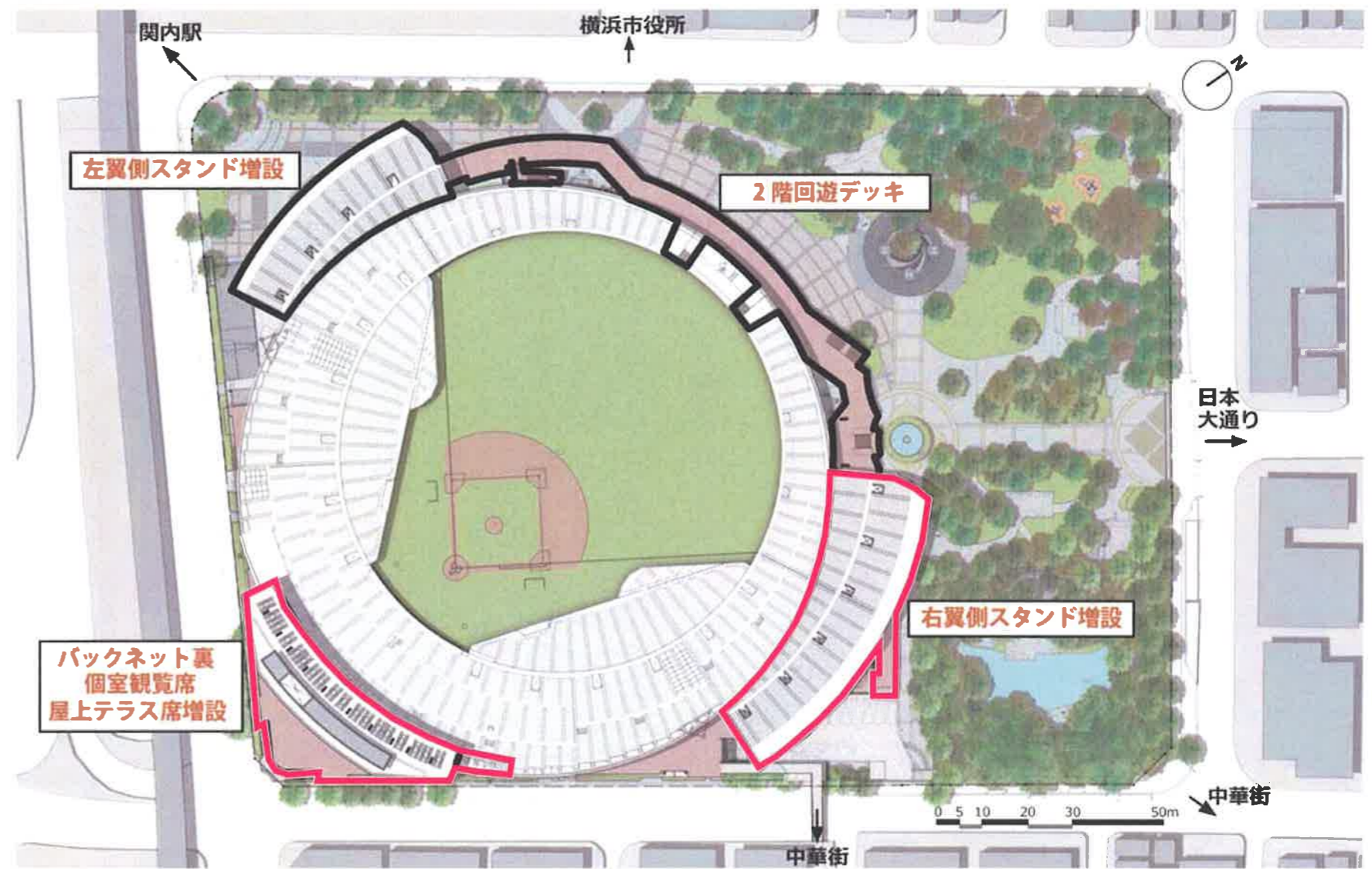
本計画は都市美対策審議会(第36・38回景観審査部会)での意見を踏まえ、今日に至るまで公園利用者・市民の皆様にとってより良い施設とするべく、数多くの関係者様と議論を続けてまいりました。

それらの議論の過程で、さらなる公園の魅力向上のために一部施設レイアウトと外観デザインの変更を行います。

目次

進捗状況について	01
個室観覧席棟1・2階の施設変更について①	02
個室観覧席棟1・2階の施設変更について②	03

全体配置図



■…増築範囲 ■…工事中的範囲

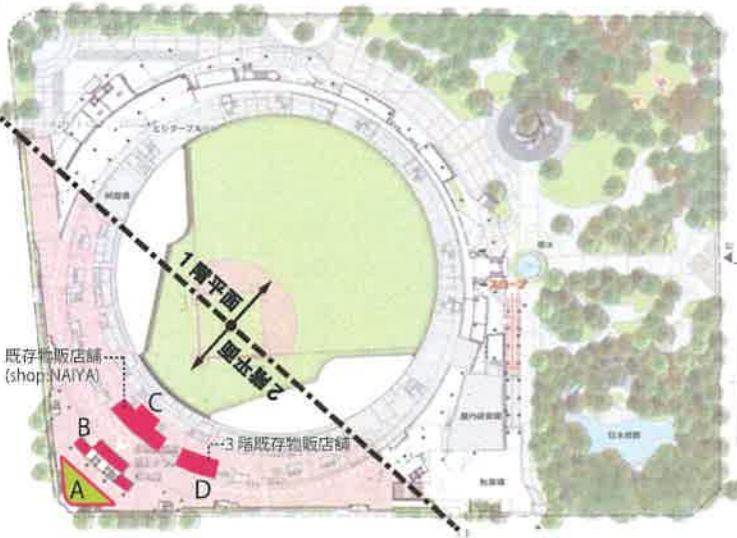
スケジュール

		2017			2018			2019			2020		
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
		プロ野球 オンシーズン											
		★竣工											
工事期間	右翼側スタンド	[Red bar from 2018.1 to 2019.3]											
	左翼側スタンド	[Red bar from 2018.4 to 2019.3]											
	バックネット裏	[Red bar from 2018.1 to 2019.3]											
		▼オリンピック 7/24~8/9											
		[Blue arrow from 2020.1 to 2020.12]											



平面計画の推移

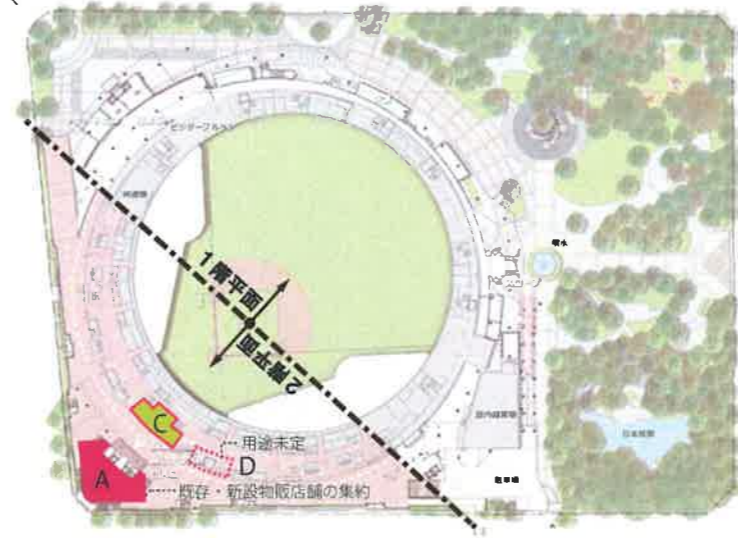
Phase 01 全体の配置計画 (1・2階) __ 第36・38回景観審査部会 時点



凡例

- ・・・A:トイレ
- ・・・B:管理エリア
- ・・・C・D:既存物販店舗

Phase 02 全体の配置計画 (1・2階) __ 改善案

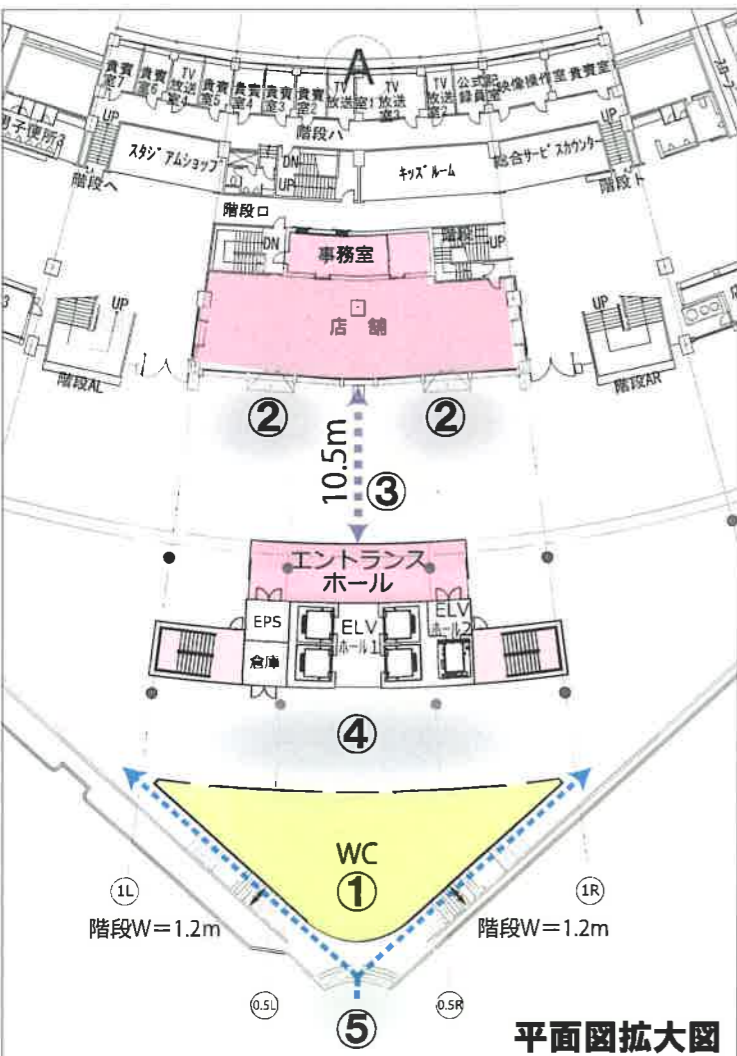


凡例

- ・・・C:トイレ (一般開放・詳細要協議)
- ・・・D:用途協議中
- ・・・A:物販店舗を集約 (詳細は調整中)

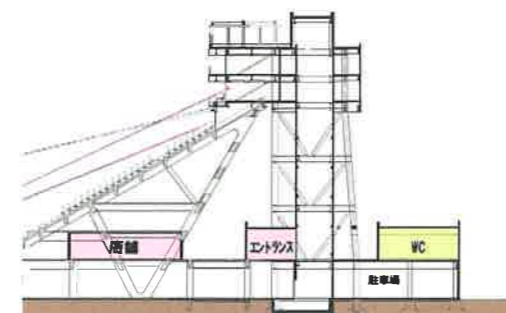
デッキ上のさらなる魅力向上 (賑わい・利便性向上) のためにトイレと店舗の配置を入れ替えました。

Phase 01 2階人工台地 拡大図 __ 第36・38回景観審査部会 時点



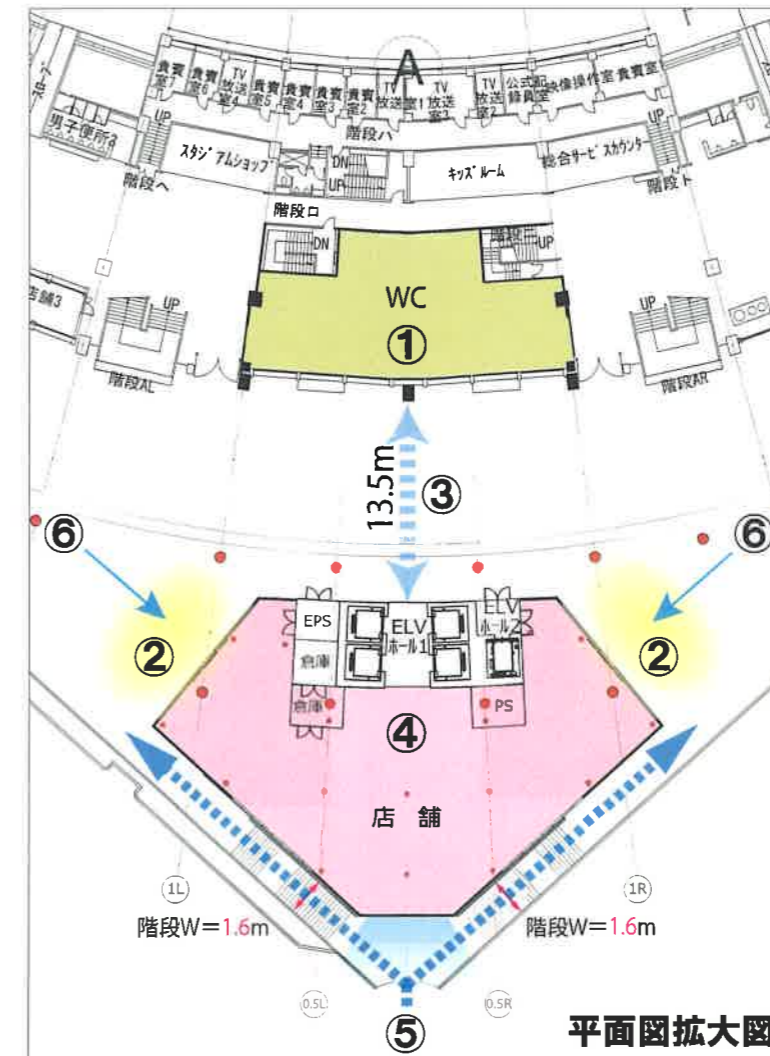
懸案項目 __ 2017. 07. 10以降の協議内容

- ①トイレがスタジアムから離れており、スタジアム利用者が利用しづらい。
- ②店舗前に溜まりのスペースがなく、主要な通行動線に影響あり。
- ③主要な通行動線の縮小化により、混雑時の誘導対応が必要。
- ④ELVコアとWCの間のスペースが死角となる。(安全性を要考慮)
- ⑤道路(交差点)側から人工台地へ上る動線がわかりづらい。



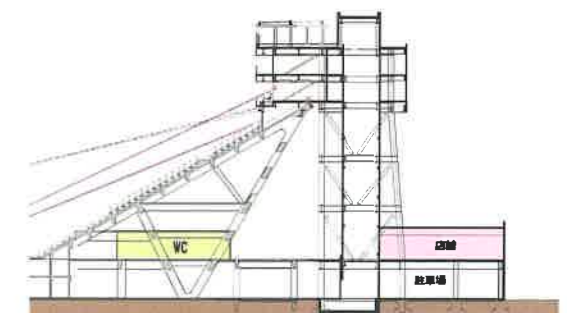
平面図拡大図

Phase 02 2階人工台地 拡大図 __ 改善案



改善項目 __ 2018. 06. 25時点

- ①物販店舗とトイレの配置を入れ替え、スタジアム内外から利用できるようにした
- ②店舗前の溜まりのスペースを確保し、主要動線への影響を軽減
- ③エントランスホールを中止とし、主要動線を拡張
- ④プラン調整により死角をなくし、安全性を向上
- ⑤道路(交差点)側の壁面に開口部を設け、かつ階段幅を広げることで、市民を引込むような場を演出
- ⑥通行動線の正面に、店舗開口を設け、デッキ上にさらなる賑わいを演出



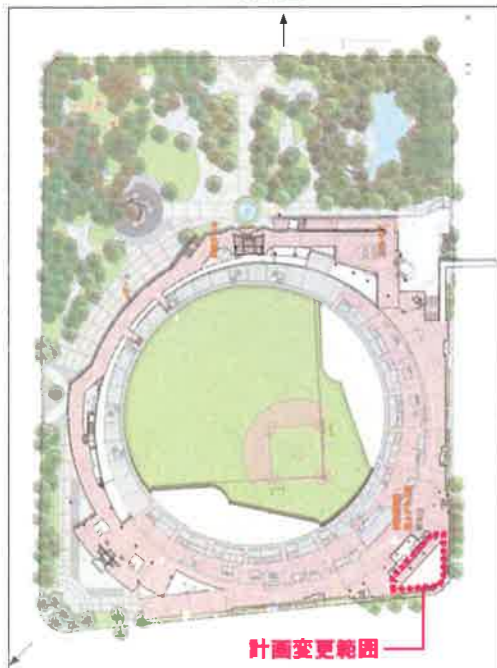
平面図拡大図

第38回景観審査部会資料

既存写真



既存改修範囲図



外観イメージパース



Phase 01 道路側からのイメージ① __ 第38回景観審査部会時点



形態・機能 _ 2017.07.10以降の協議内容

- ・壁面を既存同様にタイル貼りとするか検討が必要。
- ・開口等の検討により圧迫感・単調な壁面を改善する必要がある。
- ・道路側から回遊デッキに市民を引き込む仕掛けを検討したい。

Phase 01 半屋外広場のイメージ① __ 第38回景観審査部会時点



形態・機能 _ 2017.07.10以降の協議内容

- ・ELVコアとWCの間のスペースが死角となる。(安全性を要考慮)
- ・デッキ上の主要な通行動線上に、公園利用者を導く仕掛けが不足。

外観の推移

Phase 02 道路側からのイメージ② __ 改善案



形態・機能

- ・道路(交差点)側に大開口を設け、**回遊デッキ上の賑わいを道路側へ演出**。
- ・壁面を**緑化**することで**圧迫感を軽減** (緑化の見付面積を既存以上確保)
- ・階段沿いに横浜公園やボールパーク等にふさわしい展示スペースを設け、**市民を引込むような演出**とする。

圧迫感の軽減と抜け感確保

Phase 02 半屋外広場のイメージ② __ 改善案



形態・機能

- ・エントランスホールを中止とし、**主要動線を拡張**
- ・プラン調整により死角をなくし、**安全性を向上**
- ・通行動線の直線状に、店舗開口を設け、**デッキ上に賑わい**を演出。

デッキ上の賑わい演出・安全性の向上